

千總コレクション

京の優雅～小袖と屏風～



平成19年10月30日(火)～12月2日(日)

休館日●月曜日 開館時間●9:00～17:00

●会期中一部展示替を行います。

主催●豊橋市美術博物館・毎日新聞社

特別協力●株式会社 千總

企画協力●京都文化博物館

観覧料●一般・大学生1,000 [800]円

小・中・高生400 [300]円

●[]内は前売及び20名以上の団体料金です。

●前売券は、豊橋市美術博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・豊橋市役所じょうほうひろば、
またはお近くの子ケットびあスポット・ファミリーマート・サークルKサンクスで
直接お買い求めいただけます。(ただし10月29日まで)



Pコード687-595

●豊橋市敬老バッジ・シルバー優待カードをお持ちの方、身体障害者手帳・療育手帳・
精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方と介助者は無料になります。

●市内小・中学生は「いきいきパスポート」にて土・日・祝日が無料となります。



豊橋市美術博物館

上:元禄舞園屏風(部分) 神坂雪佳 / 右:濃帯聚縮緬地籠に萩と笹文様小袖
左:縮緬地渦巻き文様型友禅染裂(部分) / 下:大津唐絵園屏風(部分) 岸竹堂



千總コレクション

京の優雅く小袖と屏風く



京都には伝統ある老舗が今も多く存在します。弘治元年（一五五五）に創業した千總は、友禪染における代表的な老舗のひとつです。千切屋与三右衛門が、京都室町三条で法衣商を営んだことにはじまり、江戸時代の中頃から友禪染の製作を手がけるようになったといわれます。絵画的な表現が可能な友禪染の技法により表現の可能性は広がり、小袖にいつそう華やかさが加わることとなりました。明治期には当時京都画壇の巨匠であった岸竹堂をはじめ、今尾景年・幸野樸嶺らに友禪の下絵を委嘱することによって、着物の文様に芸術的な格調と清新な風を吹き込みました。

こうした活動の背景には、優れた小袖を製作するための参考として蒐集された江戸時代から明治時代にかけての小袖や、老舗の美意識を示す京都画壇を代表する画家たちの屏風コレクションがありました。

本展では、千總の染織・絵画コレクションの中から数多くの優品を紹介することによって、京都を舞台にした優雅な美の世界をお楽しみいただきます。



▲上:白輪子地瓶垂れ文様小袖(部分)
▶右中:納戸網縮地雪取に貝橋と花鳥文様小袖
▶右:縮緬地琳瑯百花文様型友禪染製 神坂雪佳



▲上・右:写生团巻(甲巻・部分)重要文化財 円山応挙
▶右:松に友禪染張り物園屏風
▶下左:縮緬地琳瑯牡丹に梅文様型友禪染製 今尾景年
▶下右:山水園屏風(部分)木鳥桜谷



記念講演会
ギャラリートーク
和服でおトク!

「京の優雅—老舗の美意識—」
日時●11月3日(土) 13:30～
場所●豊橋市美術博物館講義室
講師●切畑健氏(京都国立博物館名誉館員)
日時●11月9日(土)・24日(土) 13:30～
講師●当館学芸員
●ご参加には観覧券が必要となります。
主・祝日に和服でご来館の方は入場無料
(当日は毎日新聞社より招待券を進呈)

豊橋市美術博物館
440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)
TEL ● 0532-51-2882 / FAX ● 0532-56-2123
http://www.toyohaku.gr.jp/bihaku/
JR・名鉄「豊橋」駅より市内電車「豊橋公園前」下車、徒歩3分

